

表 15.2 東芝カラーテレビセット規格表

Specification of Toshiba color-TV sets

形名	17 WG	17 WH	D 21 WE
種類			
全チャンネル	1-12 チャンネル	1-12 チャンネル	1-12 チャンネル
チューナー	オーレット式カソード	オーレット式カソード	オーレット式カソード
AFC	パルス幅 AFC	パルス幅 AFC	パルス幅 AFC
AGC	せん増幅形 AGC	キード AGC	キード AGC
使用真空管	25 柱 3 石	27 柱 5 石	28 柱 2 石
使用三色受像管	430AB22	430AB22	21CYP22(A)
色復調軸	U, V	U, V	X, Z
色同期方式	リアタンス管制制位相検波	リアタンス管制制位相検波	リアタンス管制制位相検波
スピーカ	丸形 16cm 側面スピーカ	10×25cm 前面スピーカ	10×25cm 及び 8cm 側面発声方式
音響出力	0.7W	1W	1W
電源	a-c 100/110V	a-c 100/110V	a-c 100/110V
消費電力	300VA	320VA	390VA
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	360×530×560mm	690×550×620mm 壁付	780×700×670mm

用し、従来のかつこう級に比較して外観および電気的性能に一段と新しい設計が加えられたステレオラジオである(図 15.67)。

普及形(うぐいす) すべて2バンド5球スーパーヘテロダイナミック方式を採用し、キャビネットは強じんなプラスチックを使用した。意しうは特に近代感のある横長を採用し、和洋室にマッチするよう考慮された。スピーカは12cm 強力形パーマメント形を2個使用した。CS, DS は負帰還回路を採用し、音質に重点をおいて設計した。またレコードプレーヤ端子が装置されているので、簡易電蓄としての用途も備えた。価格も低廉な機種である(図 15.68)。

卓上形(かなりや) 全機種オールプラスチックキャビネットでは今回は新形6種を発表した普及形機種と同様短波付きで、しかもレコードプレーヤ装置付きである。一室一台のベッタラジオとして、また他のセットと併用してステレオ聴取用に最も適する。感度、忠実度ともに十分な性能をもっている。ES, HS は10cm 強力形スピーカを2個使用したステレオタイプのセットで、特に音質に考慮がはらわれた。またこの機種はすべてトランスレス方式を採用しており、小形軽量に設計された。製造においては量産の合理化に伴って価格も低廉な機種である(図 15.69)。

15.6.2 東芝トランジスタラジオ

6石式, 6TP-395, 6TP-492, 6TP-504, 6TP-515 の4種類を発表した。キャビネットはすべて対衝撃性ポリスチレンとスピーカ



図 15.65 東芝カラーテレビセット 17WH 形
Toshiba color television receiver, Model 17-WH

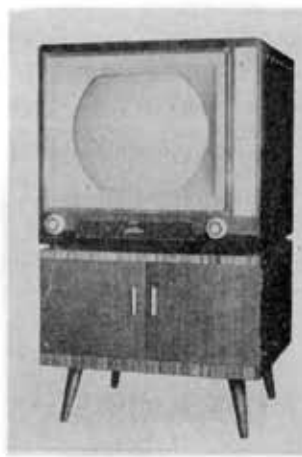


図 15.66 東芝カラーテレビセット D21WE 形
Toshiba color television receiver, Model D21-WE



図 15.67 東芝ラジオ“かつこう LS”
Toshiba radio receiver, 6ZT-397

部は美しいパンチングメタルを用いた。極小ポケット形セットである。492形(図 15.70), 504形は高周波部にドリフトトランジスタ 2SA73 を使用し、一段と感度が良く雑音が少なく設計された。515形は図 15.71 のように、野球のボールと同じく大きさの球形キャビネットにトランジスタラジオを組み込んだもので、模形の小型バット3本を組み立て、セットを台に乗せて使用し、またつり紐によりポータブルラジオとして携行することもできる。

7石式, 7TP-415S, 7TP-439S, 7TP-440S, 7PT-468S 形でキャビネットの形状は 415S をのぞき横形で、いずれも優美なポリスチレンキャビネットを使用している。中形セットを部品の小形化および製造の合理化にともなって、2バンドでポケットブルに改善された機種である。440S(図 15.72) は8段ロッドアンテナおよび PHONO アダプタも付属しているの、レコードプレーヤと併用して簡易電蓄としての用途を備えている。低周波回路は新設計によって感度および音質が向上しさらに電池の寿命が長くなり、横行ダイヤルを使用し、同調が一段と容易になっている。またスピーカは新設計 6.5cm パーマメント形を使用している。

8石式, 8TM-417S, 8TM-459S, 8TL-463S, 中形機種を3種発表した。8石+2ダイオードの2バンドスーパーセットで、感度切換回路によって放送を受信する場所に応じて最良の条件で動作させることができる。また電池の交換は裏ぶたをはずさなくても外部から簡単にできる。また 463S(図 15.73) は美しいレザーキャビネットを用いており、スピーカは新設計 9cm PD を使用し、低周波回路に新しく高能率回路を採用して大形ラジオと同様な電気的性能を持っている。価格も低廉な機種である。

9石式, 9TL-432S, 9TL-477S(図 15.74) ともに高周波一段付2バンドラジオで、PHONO 端子装置を備えているので簡易電蓄としても使用できる。出力は 2SB189 プッシュプルで低周波回路に帰還回路を採用し音質切換装置および感度切換装置付きであって、ハンド形としては外観および性能において最高級な機種である。

時計付 6TC-485, 7TC-484S 今回東芝でトランジスタラジオに時計付きを新しく開発した。485(図 15.75) はぜんまい時計付きポータブルラジオで、単三乾電池3本で動作し、また標示灯用電池を備えている。時計により自動的に希望の時刻にラジオを閉鎖することができる。また目覚音を発することもできる。キャビネットは新しいレザーを使用した近代的なデザインである。

ホーム形 7TH-525, 7TH-486S, 8TH-496S ともに大形プラスチックのキャビネットを使用している。525形は丸形の壁掛ラ



図 15.68 うぐいす
Toshiba radio receiver, 5ZB-483

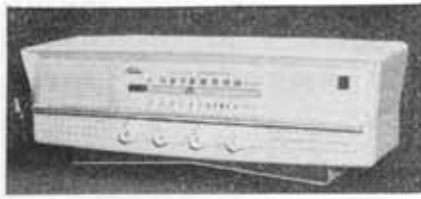


図 15.69 かなりや HS

Toshiba radio receiver, 5ZL-462



図 15.70 東芝トランジスタラジオ 6TP-492 形

Toshiba transistor radio receiver, Model 6TP-492

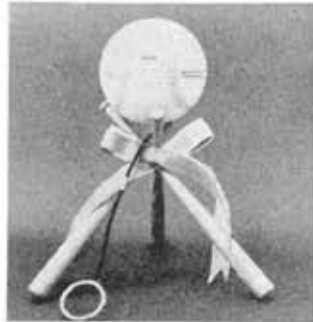


図 15.71 東芝トランジスタラジオ 6TP-515 形

Toshiba transistor radio receiver, Model 6TP-515

ラジオで、単一乾電池4本(6V)で動作し、9cm パーマネント形スピーカ2個を備え、さらに高出力トランジスタを用いているのでダイナミックな音質を持ったセットである。またこのセットは居間などの装飾をかねたもので指向防止を考慮してフェライトアンテナが回転式になっており、外観は特に美しいプラスチック仕上げになっている。また PHONO 装置およびイヤホン装置付きである。486S(図 15.76)は従来横長の外形を一変して薄形の縦形2バンドセットでホームラジオおよびハンドラジオとしても簡単に持ち運びができる。特に狭い場所でもスペースを取らず卓上形として使用できる。496Sは大型キャビネット2バンド 12cm パーマネントスピーカ付きホームラジオである。特にこのセットは高性能回路を用いており、感度、音質、音量などについて向上した高級品で、価格も低廉を目標にした機種である。高出力にかかわらずサービスライフは約400時間。

15.6.3 東芝レコードプレーヤーおよびホノラジオ

東芝レコードプレーヤーは、その生命であるピックアップ部、ホノモータ部に最高の性能を有する部品を使用し、コンプライアンス周波数特性、出力、アイソレーション、高周波ひずみ、過渡現象、回転むら、振動、などにすぐれた技術により製作されている。

東芝ステレオレコードプレーヤー TPS-84 形 美しい色彩による2トーンカラーのキャビネット(ユリヤ樹脂)からなり、ピックア



図 15.72 東芝トランジスタラジオ 7TP-440S 形
Toshiba transistor radio receiver, Model 7TP-440S

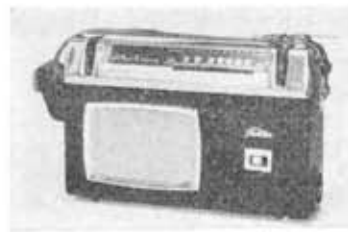


図 15.73 東芝トランジスタラジオ 8TL-463S 形

Toshiba transistor radio receiver, Model 8TL-463S



図 15.74 東芝トランジスタラジオ 9TL-477S 形

Toshiba transistor radio receiver, Model 9TL-477S

ップ部は、クリスタルステレオカートリッジ、電動機部は強力マグネットレギュレータにより正確な速度で、ステレオレコード演奏が再現できる(図 15.77)。

東芝レコードプレーヤー TP-86 形 TA-69 形アンプを組み込み使用により簡単に電着となり、ソノラマレコードほか各種レコードの演奏が楽しめる。またそのピックアップには、特殊機構を設け、演奏、格納に便利である。

東芝レコードプレーヤー 72 形、73 形 美しいユリヤ樹脂キャビネットからなり、簡易アンプ TA-74 形を組み込みにより小型電着としてレコード演奏ができる。またハンドルなども設け携帯に便利のためいかなる場所でも手軽にレコード演奏が楽しめる。

東芝リプレー電着 TE-52 形 レコードの片面の希望範囲を何回でも繰り返し演奏ができ、英語などの語学のレッスン、踊りのけいこなどに便利である。また携帯用のため運搬にも好都合である。

東芝ステレオ電着

東芝ステレオ電着は、普及形、中級形、高級形に分類され、それぞれ東芝ファミリーステレオシリーズ、東芝マイスタージーンガーとして発売されている。

東芝ファミリーステレオシリーズ 202 家庭用高級ステレオ演奏電着で、TPS-62 形プレーヤー、TAS-63 形アンプ、TSS-64 形スピーカ(2個組)から構成されている。左右のスピーカの距離は台上で自由に調整でき、へやの大きさ、構造に応じて最良のステレオ効果を発揮するようになっている。

東芝ファミリーステレオシリーズ 130(図 15.78) 中級ステレオ電着として、家庭、小ホールなどのステレオ演奏に適し、TPS-130 形プレーヤー、TAS-130 形アンプ、TSS-130 形スピーカにより構成されている。左右のステレオバランスは、マジックアイによるバ

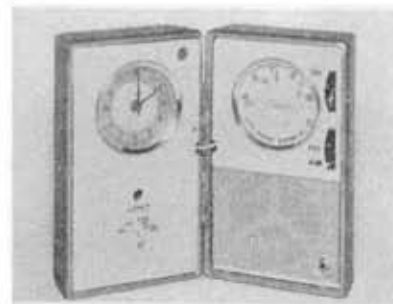


図 15.75 東芝トランジスタラジオ 6TC-485S 形

Toshiba transistor radio receiver, Model 6TC-485S



図 15.76 東芝トランジスタラジオ 7TH-486S 形

Toshiba transistor radio receiver, Model 7TH-486S



図 15.77 東芝ステレオレコード
プレーヤ
TPS 84 形
Toshiba stereorecord player,
Model. TPS-84

ステレオ演奏をはじめ、モノラルレコード、FM 放送、内外の中短波放送が楽しめる(図 15.79)。

15.6.4 シートレコーダ

シートレコーダは磁性体を片面に塗布したサウンド・シートにテープレコーダと同様磁気的に録音し、再生を行なう録音シート録音再生機である。動作中サウンドシートは固定されてあるから、表面に記入または印刷された事柄を見ながら、その録音または再生が行なえるところに本機の特徴がある。サウンドシートは A-4 判が標準で、最大 5 分 40 秒の録音ができ、一般のテープレコーダと同等の性能がある。その他、録音済の 1 枚のシートを元に幾枚のコピーをとることもでき、また不用になったシートの録音を消去するのに用いる付属品もある。

これら一連の製品は、現在事務用を主目的として開発されたものであり、次のような製品がある。

シートレコーダ 1 形 TFR-80 (図 15.80) 録音、再生が行なえる標準形のシートレコーダである。逆転装置付きであるから、コピーをとる場合に使用するマスターの作成もできる。電源は交流 100V、50/60c/s、60 VA、再生出力は 1W、重量 10kg。

シートレコーダ 2 形 TFR-83 再生専用機であり、シートレコーダ 1 形で録音したもの、またはプリンタでコピーされたシートの再生に用いる。電源は交流 100V、50/60c/s、40 VA 再生出力は 0.5W、重量 7kg。

シートレコーダの利用範囲を広げる付属品としては次のものがある。

シートレコーダプリンタ H-1 形 (図 15.81) 1 枚の元録音から幾枚ものコピーをとる場合に使用する。

電源は交流 100V、50/60c/s、140 VA、重量は 11kg。

シートレコーダイレーザ E-1 形 不用のシートの録音を消去

ランサにより正確に調節でき、完全トランス式、高音低音専用スピーカーにより、ステレオ感、音量感にすぐれた、ステレオラジオ放送、ステレオレコード演奏をはじめ、内外の短波放送などが楽しめる。

東芝マイスタージンガー No. 5 高級ステレオ電着で、TPS-57 形プレーヤ、TAS-58 形アンプ、TSS-59 形スピーカーからなり、立体感あふれるス

テレオ演奏をはじめ、モノラルレコード、FM 放送、内外の中短波放送が楽しめる(図 15.79)。

テレオ演奏をはじめ、モノラルレコード、FM 放送、内外の中短波放送が楽しめる(図 15.79)。

テレオ演奏をはじめ、モノラルレコード、FM 放送、内外の中短波放送が楽しめる(図 15.79)。

テレオ演奏をはじめ、モノラルレコード、FM 放送、内外の中短波放送が楽しめる(図 15.79)。

テレオ演奏をはじめ、モノラルレコード、FM 放送、内外の中短波放送が楽しめる(図 15.79)。

テレオ演奏をはじめ、モノラルレコード、FM 放送、内外の中短波放送が楽しめる(図 15.79)。

15.6.5 レコード

昭和 33 年度から開始された当社録音盤レコードは、当時開発されたばかりのつかないエパークリーンレコードとともに、引き続いて音楽愛好家から非常に好評を得、逐年躍進につく躍進をとげたことは、東芝のすぐれた総合技術と最新の製造設備、厳重な品質管理によるところが多い。昭和 35 年度ではさらにその経験を生かして次のように内容を充実した。

ステレオレコード ステレオレコードは、これまでのいわゆる単なるレコード音楽と異なり、広大な音域、壮大な音量、驚嘆すべき音の分離により、ここに純度の高い芸術性をもつものとして注目された。当社では、国内の他社にさきがけて世界に誇る独逸ノイマン社製の最新のステレオカッティングマシンを設備し、この新音響技術の受入開発に努力し付帯準備をも完了したので、昭和 35 年度を期して当社録音盤による製造販売を始めた。当社ステレオレコードの特長は、JIS 規格に準拠してステレオレコードすなわち雑音レコードの憂いがなく、すべてはこりのつかないエパークリーンレコードにより、ステレオとして画期的な Hi-Fi 化を図ってある。ステレオレコード中特に注目されたメダリオンシリーズは当社の米国における提携先 Kapp 社から受けたテープをさらに吟味し、東芝の製盤技術によって完成したステレオレコード中の花形である。

エパークリーン (登録商品名) レコード 従来の LP レコードは、その欠点として静電気が起きやすく、空気中のちりやほりを容易に吸引し、レコードの盤面をそこねたり、あるいはまた針先の摩耗が著しく、レコードの寿命も短くならざるを得なかった。

これらの欠点を一挙に解決したのがエパークリーンレコードで、このエパークリーンレコードの出現によって静電気の帯電量を極度に低くし、しかもこの帯電防止能力は、永久的であるためいつまでも雑音の少ない、美しい音楽を堪能できるので、国内はもちろん、海外でもこの種の静電気の起こらない雑音の少ないレコードが開発され、漸次切り換えられて行くものと思われる。当社では、すでに他社に先がけてこの種のレコードを、エパークリーンレコードとして完成し、その後着々と量産化の計画を進めており、近く全面的に帯電防止をした、エパークリーンレコードにすることができる。

15.6.6 電気オルガン「スフォルツァント」A 形 (図 15.82)

オルガンの内容はブローアを使うようになったという点を除けば、数十年間全く変わらなかったもので、最近意



図 15.78 東芝ファミリ ステレオシリーズ 130
Toshiba family stereoseries 130



図 15.79 東芝マイスタージンガー No. 5
Toshiba moistersinger No. 5